



# JARL香川

令和4年2月15日発行

発行 J A R L 香川県支部

<http://www.jarl.com/kagawa/>

第 5 8 号

発行者 支部長 森國幹夫 JA5ARW

編集者 平賀正明 JA5TOP

誌間 哲 JA5UVT 渡辺庄平 JH5GTO

岡崎正和 JG5EQV 横山浩二 JJ5JTF

木野谷稔 JI5EDR 森國愛子 JF5UTH

一般社団法人日本アマチュア無線連盟 香川県支部報



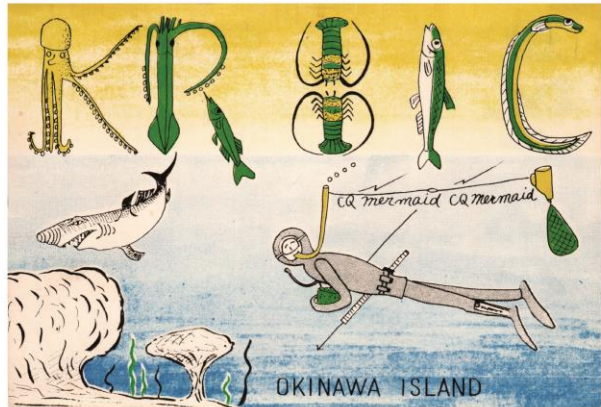
▲令和4年の製作技術講習会はデュプレクサー 詳細4頁



▲2021.11.7 製作技術講習会



▲7J1RL 1976.6.1 14MHz



▲KR8IC 1971.6.20 21MHz

## ☆ ハムフェスティバル in 香川のご案内 ☆

JARL香川県支部では『ハムフェスティバル in 香川』を下記のとおり開催します。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を済ませマスクを着用してお出で下さい。

記

日時 令和4年3月20日(日)

13時より16時まで(受付:11時~13時半)

\*コロナ禍で中止の場合は支部HPで発表  
します。 <https://www.jarl.com/kagawa/>

会場 アイレックス(丸亀市綾歌総合文化会館)

丸亀市綾歌町栗熊西1680 ☎0877-86-6800

催物 ・メーカー展示・ジャンク市・クラブ紹介  
等のブース なお出展者はJR5KPV窪田  
まで事前連絡の事 ☎090-7578-6234

・JA5YRL運用(FT8)

四国レジャーハムクラブ

・自作品展示(当日会場へご持参ください)

報告 行事及び会計報告・監査指導概況

講演 八重洲無線株式会社 藤原 秀規氏

新製品 FTDX101 の紹介

★各種表彰

★子供さんお楽しみ抽選会(小学生以下対象)

★お楽しみ抽選会

★ D X 通 信 と 私 ★

J A 5 S U D 森田 耕司

昨年11月に開催された製作技術講習会に参加したのですが、会場で森國支部長から「支部報のネタに困っています。香川県はDX通信を楽しむ人が少ないと感じているので、少しでも興味を持ってもらえるような記事を書いてもらえないだろうか」と懇願されてしまいました。確かに昔は香川県においてもDX通信をやっている方が多くいましたが、今ではアクティブに電波を出している方はめっきり少なくなっているように自分でも感じていました。そんなわけでこの記事が少しでも海外との交信に興味がある方の一助になれば幸いです。



上段左からDXCC チャレンジ オーナーロール 5 B a n d DXCC オーナーロール # 1

### 1. DX通信との出会い

国内QS0がそうであるようにDX(主に海外との交信)においても、様々な楽しみ方があります。

ラグチューを楽しむ人、DXハントでより多くの国との交信を目指す人など・・・私はもっぱら後者のほうで『DXCC(DXセンチュリー・クラブ)は、世界中の100以上の「エンティティ」(アワードの授与規則に記載されている世界の地理的な区分)のアマチュア無線局と交信をすることで加入できるアマチュア無線家のクラブであり、その会員証はアワードとみなされている。このアワードはアメリカ無線中継連盟(ARRL)が発行しており、同連盟の登録商標である(wikipediaより)』を中心に据えたハムライフを送っています。

私の今までの無線とのかかわりについてはすでに月刊FBニュース2018年8月号で紹介されていますので、興味のある方はご覧になってください。

<https://www.fbnews.jp/201808/ham/index.html>

ここでもかかせていただきましたが、社会人になって屋上にルーフタワーを上げていつものようにCQを出していたらある日、誰かに呼ばれている。ビクター キロ ファイブ・・・って聞こえるではありませんか。いったいどこだろうと急いで手元のハム手帳をめくってみるとVKオーストラリアです。それがわかったとたんに頭の中が真っ白になり、何

が何だか分からなくなりいつの間にか交信を終えていました。初の海外との交信です。あの時の印象は今でも強烈に覚えています。

そこから急激にDXとの交信にのめりこんでいくこととなります。勤務先が転勤がある会社でしたので、もし遠隔地で勤務になった場合、ペディションで珍しいところからの運用があればDX通信の王道のバンドである14メガは必ず出てくるはずと実家に20mのタワーを建ててモノバンドの6エレを上げました。その時すでに2アマは取得しており、独身でしたので割と金銭的にも自由であることが幸いました。

ちょうどそのころにご近所に熱心にDXをやっていたJA5BYL白井OMがいらっしゃったのでDXに関する知識をいろいろと教えていただきました。

当時は今のようなインターネットを使って自分の欲しい情報を入手するなんてことは皆無でしたので、国内や海外からDXに関するニュースを定期購読したり、各地のDXクラブがお空で週末に定期的開催しているネットミーティングを聞いて情報を仕入れるということが一般的でした。白井OMの勧めで歴史あるEDXG(愛媛DXグループ)に入会したのもその頃でした。

全国各地にDXクラブがたくさんありました。その頃は勤務が徳島でしたので徳島DXグループの皆様とも仲良くしていただき、合同ミーティングや懇親会を行ったものです。もちろん地元香川県においてもDXが好きな連中が集まって自然発生的に香川DXグループなるものがあり、以前は年2回の懇親会も開催されていました。でもどこのクラブもそうであるように、高齢化が進んでクラブ自体が解散したり、以前ほど活動が活発でないことはとても残念です。とにかくDXに目覚めた若いころはコンディションがとても良かったので、ワッチすればするほどエンティティが増えていくのが楽しくて仕方がありませんでした。

毎年10月末に開催されるCQ WW SSBコンテストでは珍しい局がたくさん出てくるので、それに合わせて、高松在住のEDXGメンバーたちと軽トラにタワーやアンテナ、発電機等を積み込んで大滝山に移動運用したのもこのころでした。下界とは比べ物にならないくらい飛び・耳の良さに感動したものです。



## 2. 現在のDXを取り巻く環境

世はまさにインターネット全盛期です。ネットでの情報が溢れています。そんな中でいかに早く情報を仕入れるかが成果の大きな分かれ目となります。運用している皆さんの多くは、PCを起動してクラスター情報を眺めながらDXハントを楽しんでいることと思います。私はそのほかに長年使用しているログソフトのテルネットの機能を多用しています。

ログソフトは高機能を持った様々なフリーソフトが出ていますが、私はEDXGメンバーでもあり、職場の先輩でもある方が作ったBGALOGなるものを愛用しています。メンバーの多くが使用している優れたものです。自分の未送信のバンドやモードの局の情報がテルネットに上がると、たちまちジャジャーンと設定した音で知らせてくれます。とにかく機能が多いので使いこなすまではちょっと時間がかかるかもしれませんが、基本的な操作を覚えるだけでもかなり有効な情報が入手できることは間違いありません。困ったときの相談にも電話やリモートで親切にアドバイスいただけます。

それから次はLINEのチャットによる情報交換です。以前CQ誌のDXコラムでも紹介され話題になりましたが、根こそぎDXクラブなるものです。お遊びで作ったおそろいのシャツでハムフェアでは海外から訪問した局に大うけでした。



とにかくアクティブな連中ぞろいで、みんなDXペディションでのClubLogのマス埋めで毎回上位に名を連ねている連中ばかりです。もともとはSNSのTwitterでおしゃべりしていた連中が、ハムフェアの前日にどこかに集まって飲み会をやろうと自然発生的にできたものです。会則も会費もありません。メンバーになるためにはハムフェア前日に開催される懇親会に参加すること！と極めてアバウトな集団です。超ユルユルなルールが今まで続いている秘訣かもしれません。

飲んでワイワイやるのが好きな連中ですので場所を変えての懇親会も定期的に開催しています。第1回の懇親会は琴平でした。LINEで「みんなとまた飲みたいね。うどんが好きならいつでも案内するよ」って呟いたらすぐさま反応があり全国各地からメンバーがうどん県にやってきました。

今年は長崎の予定です。このノリの良さが良いんですね。朝の挨拶から始まっているいろんな情報が飛び交います。ほとんどがDXクラスターに上がってない情報です。アクティブな連中がワッチしていますのでその情報量も多くて、パイルアップになる前に交信できる状況が多々あります。これは大きなメリットです。DXクラスターに上がってから相手局を呼び始めたのでは、パイルアップも大きくて目的の局をゲットするのはなかなか難しいと思われま

す。お目当ての局と交信出来たら、次なるステップはカードの回収です。相手が珍しい国からの運用であれば是非ともカードはゲットしたいものです。郵便で直接送れない場合は、QSLマネージャーにSASEを送って回収していました。同封するのはIRC(国際返信切手券)ですが、この世界ではグリーンスタンプ(1ドル紙幣)が一般的です。当方も常備していました。こうして手元にまとまったカードが集まったら、いよいよARRLに申請です。今でこそLoTWやDXCCチェッカーは一般的ですが、昔は虎の子のカードを書留で郵送していました。無事に戻ってくるか心配で心配で(^\_^;)一度にまとまった数のQSLを送ったので送料だけで50ドル以上かかってました。

今はLoTWという超便利なシステムがありますので、以前のようにカードを送ることもめっきり少なくなりました。カードの回収にしてもClublogに交信データをアップロードしていれば、OQRSを利用することで確実にカードを入手することが可能となりました。それぞれの機能の詳細についてはネットでたくさん情報が溢れていますので検索してみてください。

DXを楽しむならLoTWとClublogは外せません！

- LoTW <https://www.cqpub.co.jp/cqham/LoTW/>
- Clublog <https://clublog.org/>

## 3. 最後に

社会人になってすぐにDXの魅力に取りつかれて40年以上が経過しました。通勤族でしたので社宅住まいではなかなかアンテナを上げることもままならず、アンテナがある高松まで帰れずに珍局をどれほど逃がしたことか・・・DXCCの世界での「上がり(全340エンティティーとの交信)」であるオーナーロール#1になるまでに27年ほどかかりました。現在であれば、情報量も設備も格段に進歩していますのでもっと早く完成出来ることでしょう。

通勤族である私がここまで細く長く続けてこられたのは何といても家族の理解です。他人から見ればまさにビョーキだと思われる無線バカの私に対しても嫌な顔一つ見せずにも今日もシャックに送り出してくれることに感謝です。次に日頃アンテナのメンテナンスでもお世話になっているローカル局です。数年前の自立タワーの撤去時に誤って

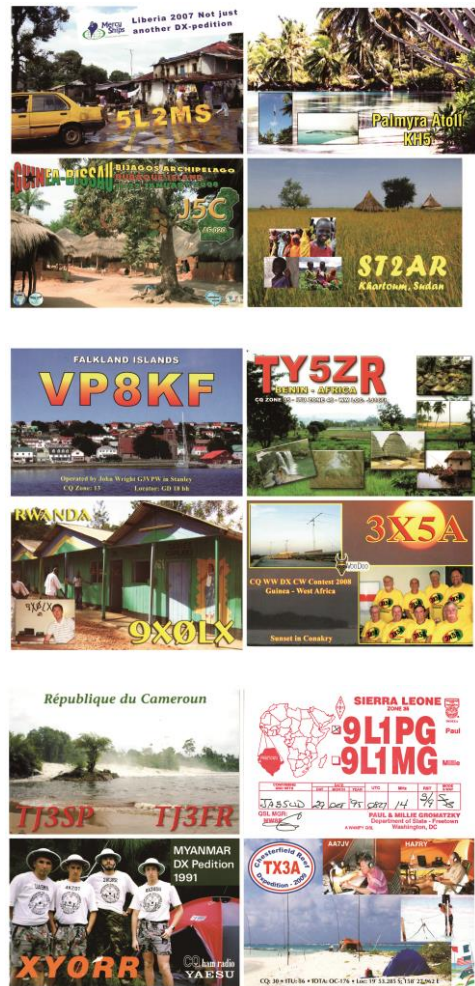
タワーから落下し救急車で搬送された際にも冷静に対応していただき本当に感謝しています。今の設備をメンテナンス出来なくなった時が廃局になる時期かなと感じています。タワーに上る際に少しでも体力をつけておかねばなりませんね。それから前出の根こそぎDXクラブや長年メンバーとしてお世話になっているEDXG, FEDXPのメンバーたちとの交流にも感謝です。DXに関する様々な情報を入手することが出来ました。交友関係も格段に広がりました。彼らとの年に1度の総会に参加するのも大きな楽しみです。参加すれば必ず「やる気」をいただけます(笑)。

一人でじっくりと楽しむのも一つの方法かもしれませんが、私は仲間とワイワイやりながら楽しむほうが好きですし、長続きすると思います。それからアクティブに運用するのであれば1アマと1KWは必要です。

還暦を過ぎてあと何年ハムライフを続けられるのかわかりませんが、この素晴らしい世界をこれからも楽しみたいと思います。

-たかがメンコ集め されどメンコ集め-

- EDXG <http://www.dokidoki.ne.jp/home2/ja5bga/>
- FEDXP <http://www.fedxp.com/>



★ 製作技術講習会受付中 ★

HF帯～50MHz帯・145MHz帯以上のデュプレクサーの製作でアンテナポートが1個しかないHF帯～430MHz帯のリグでHF帯とVU帯のアンテナ切替が面倒くさいと言う発想から高松オーブハムクラブで開発したデュプレクサーを製作することにしました。

同クラブのOMの皆様から製作指導いただきます。

記

1. 日時 令和4年9月11日(日)10時～15時
2. 場所 丸亀市綾歌町栗熊西1638  
栗熊コミュニティセンター(予定)
3. 参加費 ¥3,000円(当日集金)
4. 準備物 ハンダ工具(30W程度) ニッパー  
ラジオペンチ等を持参下さい
5. 申込
  - 往復葉書  
〒761-8085 香川県高松市寺井町205-1  
平賀 正明 方 製作技術講習会係
  - E-mail受付  
[kagawa\(アットマーク\)jarl.com](mailto:kagawa(アットマーク)jarl.com)
6. 締切 令和4年8月31日(水)必着

## ★ 製作技術講習会に参加して ★

JH5QBD 東條 昌廣

昨年11月7日、今回初めて香川県支部の製作技術講習会に参加させていただきました。

私はカムバックハムでアマチュア無線家としては経験の浅い若輩者(年齢は昨年高齢者の仲間入り)ですが、流行に遅れないようにと思い今回参加いたしました。

今回の製作品のテーマは「SDR:Software Defined Radio(ソフトウェア無線)」でした。

参加する前にSDRとは何か、インターネット等で調べてみると「周波数帯や変調方式などが異なる様々な無線通信を1台の無線機のソフトウェアを書き換えることで対応する技術」との説明・・・なるほど。

まず、方式(3の方式)、信号処理についての説明がありました。私にとっては少々難しい内容で、試験の問題に出るので丸暗記したような回路図・・・頭が痛い。

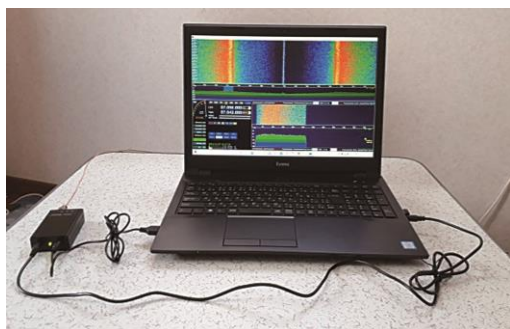
次に受信環境の設定です。

用意されたものは

- ・SDRソフトウェア(HSDR:High Definition Software Defined Radio)
- ・受信機:SDR-40a (40mモノバンド受信機)
- ・同調型アンテナ
- ・ケーブル類(I/Q Audio Cable)

早速ソフトをPCにインストールし、アンテナ、受信機を接続、設定。ソフトを立ち上げるとウォーターフォール、スペクトラム画面が現れ思わず感動。しかし、受信ができず音声も聞こえない。結局、受信機の不良ということで受信機を交換するとPCの画面で音声入力を確認できましたが、聞こえない。数名のOMさんが受信できたということで、時間切れ終了、昼休みとなりました。

(持ち帰って検証・・・やり方が悪いのか、やはり聞こえない)



午後からは大井OM(JA5COY)によるNanoVNA(ベクトル・ネットワーク・アナライザ)の紹介とスミスチャートの説明、最後に森田JARL副会長(JA5SUD)から「社会貢献活動でのアマチュア無線の活用」(総務省)についての説明がありました。

NanoVNAは、CQ誌等でも紹介されており安価で多機能、コンパクト、しかもアンテナだけではなくフィ

ルターの特性など様々な高周波測定で使用することを前提とした測定器です。安価なものでも1.5GHzまで、中には3GHzまで計測できるバージョンもあるそうです。価格は約4千円から2万円以上の幅があり購入は中国(ALi EXP)でも直接買えますが、到着までに時間が掛かり故障したときなどに交換してもらうのが面倒、Amazonは少し高いですが壊れているときなど問題があった場合でも簡単に交換できるとのことです。(HAM world\_2022\_1月号より)

これから主流となる測定器ですから日本での販売を願う次第です。

スミスチャートではアンテナの特性について詳しく説明頂き理解が深まりました。実は私が使用しているアンテナ・アナライザ(AA-55 ZOOM:Rig Expert)にもこの機能がありますが何のことも意味が分からず、これまでスルーしていました。今回説明を受け活用したいと思います。



また、歴史としてスミスチャートはアメリカのフィリップ・ヘイガー・スミス氏が1939年に発表し発明者となっているが実は日本人の水橋東作氏が2年前の1937年に論文を発表しており水橋氏が発明者ではないかということを知り日本人の偉大さに驚きました。(日本では水橋・スミスチャートと記載されている書籍があるそうです)

「社会貢献活動でのアマチュア無線の活用」(総務省)については、令和3年3月10日に電波法施行規則等の関係省令や告示等の改正が交付・施行され、制度の見直しが行われました。ARRLでは既に実施されているようですが社会貢献活動の範囲が広く、アマチュアバンドにおける不正利用、ルール無視がないよう電波監視を強化していただきたいと思います。

最後に今回初めて参加させていただきましたが、各OMさんが生き生きと取り組まれているのを拝見し改めてアマチュア無線のすばらしさを実感しました。

(まだまだ King of Hobbyですね)

また機会があれば参加させて頂きたいと思っています。

企画運営頂いた香川県支部スタッフの皆様方に紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

# ★2021香川マラソンコンテスト結果発表★

2021年12月1日～12月15日

順位	コールサイン	氏名(社団名)	得点	日数
《社団局マルチバンド・マルチモードの部》				
①	JA5ZNO	讃岐うそどりハムクラブ	81,366	15
2	JA5YDE	JARL香川クラブ	34,238	15
3	JH5YVC	高松利一ハムクラブ	10,212	15
4	JH5YRW	ニュースカイクラブ 讃岐	2,400	15
《個人局マルチバンド電信の部》				
①	JE5XIC	丸岡 俊 晴	7,209	15
《個人局マルチバンド・マルチモードの部》				
①	JA5CAU	平 井 一	92,196	15
②	JH5LYW	三 好 伸 幸	23,760	15
3	JA5OAU	渡 邊 真 二	11,544	15
4	JA5KF	吉 井 嘉 壽 憲	10,332	15
5	JG5WWD	比 嘉 久 雄	8,748	14
6	JA5CBU	立 花 眞 一	5,049	15
7	JA5ARW	森 國 幹 夫	4,263	15
8	JF5SIM	長 尾 宗 胤	3,654	14
9	JJ5PSM	小 河 内 亮 平	1,320	15
10	JJ5XTP	坂 内 信 洋	1,254	2
11	JR5KPV	窪 田 誠 一	143	1
12	JA5JGV	大 塚 隆	121	5
13	JE5EUT/5	小 松 義 幸	84	1
《ニューカマーの部》				
①	JJ5PWX	長 尾 朋 憲	1,302	14
②	JJ5QZX/5	中 村 浩 浩	828	5
③	JJ5QLY/5	川久保 貴 史	598	8
《1.9MHz電話の部》				
①	JA5CBO	鈴 木 伸 男	63	4
《3.5MHz電話の部》				
①	JA5COC	松 岡 政 照	1,276	15
《7MHz電話の部》				
①	JA5TFJ	横 田 壽 夫	943	15
《14MHz電話の部》				
①	JA5TOP	平 賀 正 明	210	10
《21MHz電話の部》				
①	JE5HTN	加 藤 秀 和	1,269	15
2	JA5ETQ	馬 場 宗 俊	117	7
《28MHz電話の部》				
①	JR5XQD	多 川 敬 藏	460	15
《50MHz電話の部》				
①	JA5AHM	天 野 英 弘	240	10
2	JR5IZI	永 合 勸	120	6
《144MHz電話の部》				
①	JR5DPV	宮 西 正 樹	1,092	15
2	JH5OJW	堀 瀬 義 明	414	15
3	JR5MBI/5	高 橋 尚 史	30	1
《430MHz電信の部》				
①	JG5JXW	坂 井 進 史	224	11
2	JR5GKU	篠 原 亘	99	7
《430MHz電話の部》				
①	JA5OGX	上 枝 秀 教	3,648	15
②	JA5UJT/5	竹 内 健 治	3,488	15
③	JR5PPN	鈴 木 重 香	2,496	15
4	JG5SPA	山 杉 壽 洋	1,792	15
5	JA5SQH/5	能 田 博 之	672	15
6	JA5UVT	能 田 博 之	660	15
7	JG5ETN	植 間 照 雄	550	15
8	JG5EQV	岡 崎 正 和	418	10
9	JF5VHW	福 野 徹	352	9
10	JG5WUN/5	久 保 正 弘	272	12
11	JJ5SAI	平 田 昌 三	132	5
12	JE5BNF/5	橋 本 章	90	3
13	JJ5USJ/5	小 柳 徹 美	35	1
14	JJ5LCK	岡 崎 仁 利	24	1
15	JJ5HOA	向 井 美 昭	24	1
16	JJ5NAE	向 井 瑛 瑛	9	1
17	JH5HTX	大 矢 根 将 巳	2	1

《1.2GHz電話の部》				
①	JA5BDZ	山 下 進	750	15
2	JJ5LKC	木 野 谷 春 美	12	3
《2.4GHz電話の部》				
①	JJ5EDR/5	木 野 谷 稔	88	3
《5.6GHz電話の部》				
①	JH5WER/5	後 藤 哲 史	120	4
《10GHz電話の部》				
①	JA5BNY/5	川 畑 守	8	2
《ATVの部》				
①	JA5DCM	芥 忠 雄	2	1

・ログ提出局 58局(1アマ26 2アマ16 3アマ12  
4アマ0 その他4) ・8日以上局 36局  
・参加局 257局 ・○印は表彰対象局

## ★オールJA5コンテスト県内局の活躍★

		2021.7.17～18	
《マルチバンド電信の部》		《マルチバンド電信電話の部》	
③	JA5IVG 54,918	①	JA5CBU 90,640
4	JA5QYR 32,136	3	JA5CAU 35,640
6	JJ5XTP 3,807	7	JA5BNY 9
《1.9MHz電信の部》		《3.5MHz電信電話の部》	
③	JE5HTN 1,740	②	JJ5USJ/5 3,220
《3.5MHz電信の部》		3	JR5PPN 2,520
①	JG5JXW 5,577	《7MHz電信電話の部》	
3	JH5OJH/5 357	②	JE5XIC 11,266
《7MHz電信の部》		《14MHz電信電話の部》	
②	JF3IYW/5 8,526	③	JR5DPV 56
4	JF5SIM 1,848	《28MHz電信電話の部》	
《21MHz電信の部》		②	JA5COC 299
②	JA5EXN 2,079	《430MHz電信電話の部》	
《28MHz電信の部》		①	JJ5SAO 63
①	JG5TZJ 3,570	《社団局電信電話の部》	
2	JH5LYW 2,754	①	JA5YDE 29,172
《144MHz電信の部》		2	JH5YHR 18,894
②	JJ5SAI 16		
《社団局電信の部》			
①	JH5YVC 2,924		

◎：四国1位 ○：香川県1位

## ★ 監 査 指 導 委 員 長 日 誌 ★

監査指導委員長 JJ5EDR 木野谷 稔  
監査指導委員長就任の挨拶

令和3年4月より、JARL香川県支部の監査指導委員長を務める事と成りました。

監査指導業務として、電波障害に関する相談受付や対策の指導、アマチュアバンド内のモニター、アマチュア無線に関する育成指導、JARLガイダンス局の運営・管理などを主な活動として対応してまいります。

コロナ禍の中で思うような対応が出来ない事も多々あると思いますが、支部報の書面をお借りしてご挨拶申し上げます。

### 監査指導委員の諸活動

昨年は、総務省四国総合通信局規制用無線局とJARLガイダンス局による連携運用を10月15日坂出市五色台での運用許可を取って計8名の人員で実施しました。

業務内容としては、アマチュアバンド内モニター業務が主体となっていて、アマチュアバンドの使用区分を守らない局、呼出符号を送出しない局の

モニターを主体とし実施。

運用場所の五色台は標高384mで、瀬戸大橋が一望でき北方向には対岸に岡山県、東方向には高松・東讃、南方向には阿讃山脈、西方向には中・西讃方面まで望める比較的電波の良く届く素晴らしいロケーションです。運用当日は天候にも恵まれ通常の平日時間帯と言う事で144MHz、430MHzの2バンドでモニター実施を始めた所、さっそくバンド下端の電信・電話狭帯域でFMの運用局を発見、モニターするも移動局の様で受信不可能と成りました。

次に、FMの呼出周波数の付近でバンドモニター実施。交信中の時間を測定しながら呼出符号を送出しない局を確認。JARLガイダンス局より広報するメッセージを送信しました。これに対し交信中の局はメッセージを受けて、自局の呼出符号を送信しました。

しかしながら中にはJARLガイダンス局からの送信に全く応答する事も無く、四国総合通信局規制用無線局から規制するメッセージの送信を受けてもまったく改善の見られない交信中の局が何局かいました。メッセージ送信後の数分間は通話を中断する場合も有りましたが、その後やはり呼出符号を送信する事無く交信を始める状態を確認しました。この様に呼出符号を送出しない局は移動局が大半である事、名前等でお互いを認識して交信を行っている事などから免許を受けずに無線局を開設していると考えられます。

最後に引続き、監査指導活動に努めて参ります。

★ 8 N 5 C L E A N 運 用 ★

受信環境クリーン中央協議会では毎年10月を「受信環境クリーン月間」と定めています。その活動の一環として昨年7月から10月末まで四国4県持ち回りで特別局の運用を行い、県下では京極ハムクラブの皆様の協力で運用しました。



交信数(2021. 9. 1~9. 25)

1エリア	679	7エリア	167
2エリア	301	8エリア	81
3エリア	224	9エリア	70
4エリア	134	0エリア	135
5エリア	91	D X	49
6エリア	119	合計	2,050

★ 8 J 5 O L Y M P I C ★

昨年7月23日から開催した東京2020オリンピック・パラリンピックを記念して8J5OLYMPICを5月1日から9月5日まで四国内持回りで運用して5月愛媛県、6月県下では西讃・中讃・東讃の各地域のOMの皆様の協力をいただき6,697交信、7月徳島県、8月から高

知県で運用、海外向けの8N50LP(1kw)は高松市内より7,141交信しました。



また7月16日から9月5日までの東京2020オリンピック・パラリンピック開催期間中、JA1TOKYOは東京都西東京市から運用されました。

★ 新 ス プ リ ア ス 規 格 移 行 延 長 ★

新型コロナウイルス感染症による社会経済への影響等により、令和3年8月3日付で無線設備規則の一部が改正され、即日施行されました。

この改正により、新スプリアス規格への移行期限を令和4年11月30日とする経過措置が当分の間、延長されることが決定しました。

なお、無線局免許状に令和4年11月30日までとする旨条件が付されているものは、その条件が付されていないものと見なされ、令和4年12月1日以降も他の無線局の運用に妨害を与えない場合に限り、使用することができるとの条件が付されたものと見なされます。

★ 行 事 及 び 会 計 ★

令 和 3 年 度 活 動 報 告

- 03.05.23 四国地方ARDF競技大会(延期)
- 03.07.11 支部・クラブ代表者会
- 03.11.07 製作技術講習会
- 03.12.01 香川マラソンコンテスト (15日迄)
- 03.12.12 支部役員会
- 04.01.09 コンテスト委員会
- 04.02.06 支部役員会
- 04.02.15 支部報「JARL香川」58号発行
- 04.03.20 ハムフェスティバル in 香川

令 和 4 年 度 活 動 計 画

- 04.05.22 四国地方ARDF競技大会
- 04.07.10 支部・クラブ代表者会
- 04.09.11 製作技術講習会
- 04.12.01 香川マラソンコンテスト (15日迄)
- 04.12.11 支部役員会
- 05.01.08 コンテスト委員会
- 05.02.12 支部役員会
- 05.02.15 支部報「JARL香川」59号発行
- 05.03.19 ハムフェスティバル in 香川

## 会 計 報 告

令和2年度収支状況 (円)		令和4年度予算 (円)		
前年繰越高	156,755	前年繰越高	230,000	
収 入	地方本部費	266,100	地方本部費	132,800
	雑収入	20,000	雑収入	10,000
	受取利息	3	-	0
	合 計	286,103	合 計	142,800
支 出	会議費	8,936	会議費	16,000
	催物費	840	催物費	120,000
	通信費	0	通信費	0
	交通費	0	交通費	2,000
	消耗品費	2,658	消耗品費	0
	事務印刷費	85,695	事務印刷費	100,000
	コンテスト費	26,676	コンテスト費	40,000
	賞典費	0	賞典費	1,000
	非常通信費	0	非常通信費	0
	雑費	0	雑費	0
	合 計	124,805	合 計	279,000
	次年繰越高	318,053	次年繰越高	93,800

## ★ 会 員 在 籍 10 年 表 彰 ★

JARL(一般社団法人日本アマチュア無線連盟)は平成23年(2011年)11月1日に旧法人の「社団法人」から新法人の「一般社団法人」に移行後、連続して10年以上の「正員」「社団会員」の方を10年ごとに表彰します。

尚ライフメンバー会員は制度発足の平成26年(2014年)4月以降、連続して10年以上会費を納入された方を令和6年(2024年4月)より表彰します。JARL会員マイページよりPDFデータでダウンロードできます。<https://www.jarl.com/>

### 編集後記

今後アマチュア無線はどうなるのでしょうか。昨年も書きましたがITを活用するものや、ドローンを従事させる1つの資格など、私が開局した当時から思いもつかない時代になりました。

時代と言えば先日、微笑ましいweb記事に目が止まりました。書かれていた内容は「93歳 4アマ合格！」さらに「3アマ挑戦」と・・・私は思わずはいつ??って普通思いますよね。確かに年齢、性別関係無く国家資格を有する趣味はアマチュア無線特有のものであり更に日本も長寿国になったな〜と思い関心しながら記事を拝見しました。

たまに無線で「終活のタワー・アンテナ撤去」など耳に聞こえてくる事もありますが、まだまだ早いですよ〜香川県のいや、全国のOMさん。

すぐに終活してほしいのは「コロナ君」君だ!

( J T F )

## ★ 令和3年度JARL正員歴10年表彰★

令和3年度にJARL正員歴が連続して10年を満した局は下記のとおりです。

表彰を希望される方はハガキかE-Mailでお申出下さい。

JE4XVW JA5BLE JA5CBU JA5CRC JA5GCI JA5TFD  
JA5TKN JA5WWD JE5JHW JE5TQE JF5JBI JF5WVU  
JG5JXW JH5HAB JJ5HXP JR5EUN JR5GXC

762-0017 坂出市高屋町1086-10

森國 幹夫

E-Mail kagawa(フットマーク)jarl.com

連盟の会員在籍10年表彰の開始に伴い今回で支部の正員歴10年表彰は最後とします。

みんなの自覚で きれいな電波



## 四国受信環境クリーン協議会 香川県連絡会

事務局 高松市錦町1丁目12-7

NHK高松放送局内

アマチュア無線 営業無線 電子パーツ 家庭電化製品  
パーソナルコンピューター オーディオ製品 何でもそろふ

# (株)電化センター

〒760-0018 高松市天神前4-35(中央公園南)  
TEL 087-862-6077 FAX 087-833-4995

